

ノート

町田益己：牡鹿半島海藻雑記 I. スジメ Masumi MACHIDA: Notes on some marine algae from the Oshika Peninsula I. *Costaria costata* (TURNER) SAUNDERS

スジメはコンブ目スジメ属の海藻で、東北地方北部から北海道、樺太、北太平洋北部にかけて広く分布している寒海性の海藻の一種である。高松(1936)は本種が金華山にも産することを報告しているが、その分布状態の詳しい記載はない。牡鹿半島の中部東岸にある泊浜で、所々に密生あるいは散在しているスジメ群落を見つけたので、ここに報告する。

泊浜は太平洋に面し、牡鹿半島で最も波の荒い所である。表面水温は8月に最高20～23°Cになり、3月に最低6～9°Cになる。スジメの生育している場所は岩礁地帯の中で、大きな岩のかげで波の静かなところ、漁港内の岩礁、防波堤付近などで、外海からの波が直接あたらないことが特徴である。いつも白波がくだける荒磯ではスジメを見つけることはできなかった。このほか寄磯浜でも数個体のスジメが生育しているのを見つけたが、泊浜同様、波が直接あたらない岩かげであった。スジメはワカメ、ホソメコンブとほぼ同じ低潮線から水深1.5mにかけて分布しているが、まれに水深5mでも生育しているのが見られた。葉体は2月中旬から8月下旬にかけて見られ、葉長は1～1.5mに達する。一方、牡鹿半島西岸ではこれまでスジメは採集されておらず、東岸の寄磯浜、泊浜、新山浜(打ち上げ採集)で見られることより、親潮寒流がスジメの分布域に大きく影響しているものと考えられる。

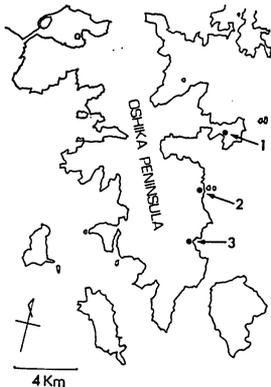


Fig. 1. Map of the Oshika Peninsula showing the localities, where the vegetation of *Costaria costata* was found.
1: Yoriisohama, 2: Tomarihama, 3: Niiyamahama.

* 東北大学農学部水産学科 (980 仙台市堤通雨宮町1-1)
Department of Fishery Science, Faculty of Agriculture, Tôhoku University.
(Tsutsumidori-amamiyamachi, Sendai, 980 Japan)
Bull. Jap. Soc. Phycol. 25: 167. 1977.